

雨の中楽屋見舞いに急ぐ女ひと

寒き肩寄す御園座の路  
みそのぎ みち

令和六年三月二十三日

大中臣正比呂



名物「櫃ひっまぶし」で腹ごしらえしたら、名古屋駅から一駅で伏見に着く。  
駅員さんに地下道を聞くのが一番である。名古屋の地下鉄はシエルトー  
のようで、狭く入り組んでいる。偶々なのか、地下鉄は混んでいた。  
地上に出ると、そこに御園座がある。

旅先の雨はつらいが、雨女あめおんなは別である。今年たつどしは龍年であるからして、  
龍神に招かれた雨女は、幸運に恵まれるだろう。